2021年12月吉日

公益社団法人日本技術士会 中部本部会員各位

公益社団法人日本技術士会中部本部

研修（CPD）委員会 委員長 森川　英憲

「2022年3月度 技術士研究・業績発表会」発表者募集のお知らせ

　９月４日の中部本部秋季講演会では、技術士は自らの専門性を高めるためのインプットだけでなく、外部に発信していくことで評価度が向上するとまとめられました。これを受けて当研修（CPD）委員会は、会員の皆様の「技術士研究・業績発表」をする会を設定しました。この発表会の開催により、技術士自らの研究・業績を発表する意欲を高めるとともに、他の技術士の業績や活動を知る機会を提供致します。

この度、「2022年春季講演会　 技術士の研究・業績発表会」を下記の要領で実施し、発表者を募集しますので、奮ってご応募願います。優秀者は、西日本大会に推薦します。

記

１．発表会の実施方法

日時 ： 2022年3月5日（土） 13：30～16：50を予定【発表1件につき20分】

場所 ：ウインクあいち　1001室と　Zoomによるオンライン開催

発表 ： Microsoft PowerPointを使用（発表15分、質疑応答5分）

テーマ ： 自由

２．応募方法

応募資格 ： 公益社団法人日本技術士会の正会員または準会員

募集締切 ： 2021年12月31日（金）

申込提出 ： 別紙「技術士研究・業績発表会 応募シート」に概要等を記入したものをE-mailにて〔 中部本部事務局：g-chubu@asahi-net.email.ne.jp 〕へ送付して下さい。

３．選考方法

締切日までにご提出いただいた応募シートの内容について、別紙「技術士研究・業績発表会 発表者選考要領」に基づき、研修（CPD）委員会で最大10件程度の発表を選考します。選考結果は応募者にご連絡致します。

４．その他

発表者に対する謝金のお支払いはありませんので、予めご承知おき下さい。但し、優秀者には、副賞として、5千円を贈呈します。（統括本部ＣＰＤ支援員会の賞金基準に準拠）

本発表会における発表は、技術士CPDガイドライン第3版の登録コード210「日本技術士会、学協会、民間団体等が開催する技術発表会等での口頭発表」に該当します。

公益社団法人日本技術士会中部本部　研修（ ＣＰＤ）委員会あて

2022 年 春季講演会　技術士 研究・業績 発表会 応募シート

|  |  |
| --- | --- |
| 氏 名 |  |
| 　技術部門 |  |
| 　会員番号 |  |
| 　E-mail |  |
| 　発表タイトル |  |

以下に、発表内容の概要を 「A4 用紙サイズで 1 枚以内」にまとめて下さい。図表記入可能。

（概ね1000字以内でお願いします。

2021 年12 月吉 日

公益社団法人 日本技術士会中部本部

研修（CPD ）委員会

技術士研究・業績 発表会 発表者選考要領

１．開催主旨

CPD として技術士に求められるコンピテンシーをバランスよく研鑚する観点から、技術士の

業績・研究を発表する機会を設ける。本発表会の開催により、技術士自らの業績を発表する意欲を高め、同分野や他分野の技術士の業績や活動を知る機会を提供する。

２．発表者の募集・選考

１）本発表会の開催にあたり、研修（CPD ）委員会が発表テーマ（今回は自由）を設ける。

２）テーマの公表、発表者の募集は、当会 HPとメーリングリスト（同報メール） での広報により行う。応募者は、発表概要等を記載した「応募シート」を提出するものとする。

３）研修（CPD）委員会は、提出された「応募シート」の内容について、テーマおよび技術士 CPD

に相応しい内容であるかどうかを判断したうえで、発表者を選考する。

３．選考基準

１）テーマに沿った内容であるか（今回は自由。諸活動や、小さな課題を解決した事例も可）。

２）他分野の技術士にも分かり易い発表を想定しているか。

◆ 論旨の明快性　（課題とその解決策、結果、創意工夫点等が明確であること）

◆ 表現の一般的な分かり易さ

３）技術士 CPD に必要な視点が重視されているか。

◆ 技術者倫理

◆ 科学技術の進歩への関与

◆ 社会環境変化への対応

◆ 技術者としての判断力の向上

４）社会への貢献がみられるか。

◆ 一般社会への貢献

◆ 技術者への有効情報

◆ 技術士の社会的評価の向上

５）下記に該当する場合は、選考外となり得る。

◆ 精神的な内容や主張に重きが置かれている。

◆ 実績に基づいた記載と読み取れない。

◆ 情報の羅列、自身の業務の振り返りに留まっている。

◆ 発表概要の記載が不十分で判断できない。

以上